

	メディア・リテラシー入門	担当教員：伊 東 正 剛	2単位
設 題	<p><提出方法：インターネット提出> 以下の課題に解答して下さい。</p> <p>課題① 「10代からの情報キャッチボール入門」の中で、著者の下村健一さんは「受信と発信はコインの裏表だ」と指摘しています。どのような意味でしょうか。</p> <p>課題② 「フェイクニュースの見分け方」の中に書かれている「ハンナ・アーレントの教訓」というのはどのような教訓でしょうか。わかりやすく説明したうえで、現実を単純化させることで陥る罠とフェアネスチェックの視点について論じてください。</p> <p>課題③ 「はじめてのニュース・リテラシー」の中に「インターネットの普及によって人類史上初めて『自分が知りたい情報』だけを選択することが可能になった」という説明があります。『知りたい情報だけを選択できる』というのはどういうことでしょうか。弊害はないのでしょうか。「エコーチェンバー」「フィルターバブル」「陰謀論」などのことばを参考に論じてください。</p> <p>課題④ あなたが関心を寄せているテーマについて複数の新聞かネットニュースの記事を読んで比較し、相違点を指摘したうえで自分の意見をまとめてください。テーマは政治、経済、科学、事件事故、医療、教育、スポーツ、芸術などジャンルを問いません。ただし特定の趣味の領域に偏ったものは避けてください（例えば好きなアイドルについての記事を読み比べてみたなど）。取り上げた記事の新聞名（ネットなら媒体名）と日付、見出しは必ず明記してください。明記されていないとえ優れた解答内容であっても不合格とします。読み比べる時には「10代からの情報キャッチボール入門」の四つのギモンと「フェイクニュースの見分け方」を頭の隅に置いて読んでください。</p>		
	作成方法は「ワープロ」		
ワープロ	通信教育部標準フォーマット。WordやPDFファイルで保存してインターネット科目試験ページから提出。		
文字数等	4つの課題で2,000字以内。横書き。		